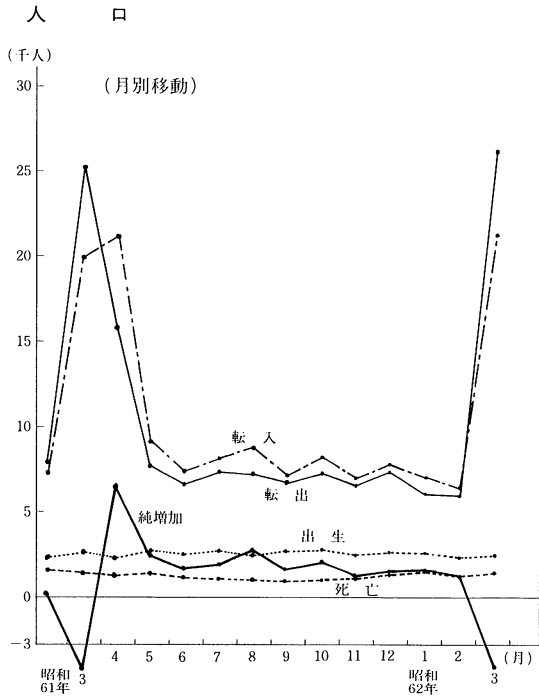
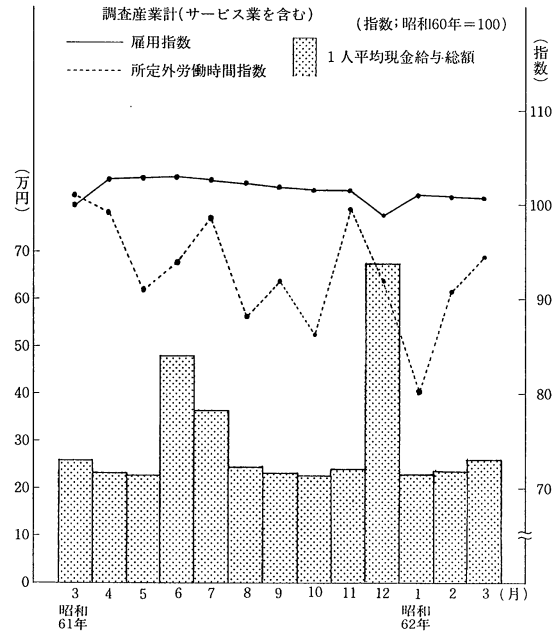


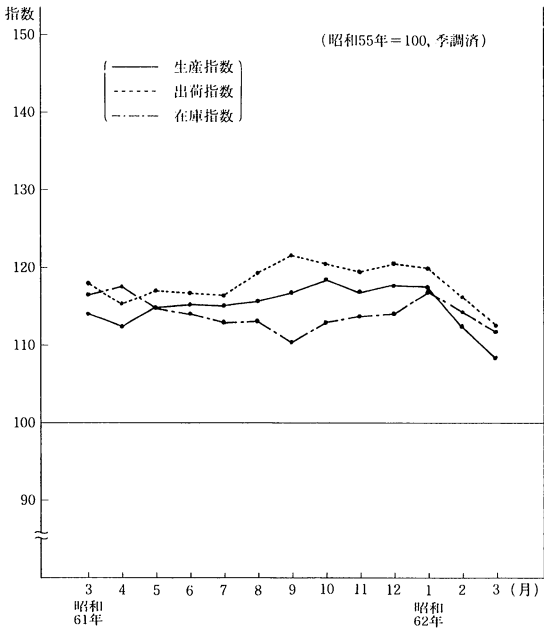
今月の主な動き



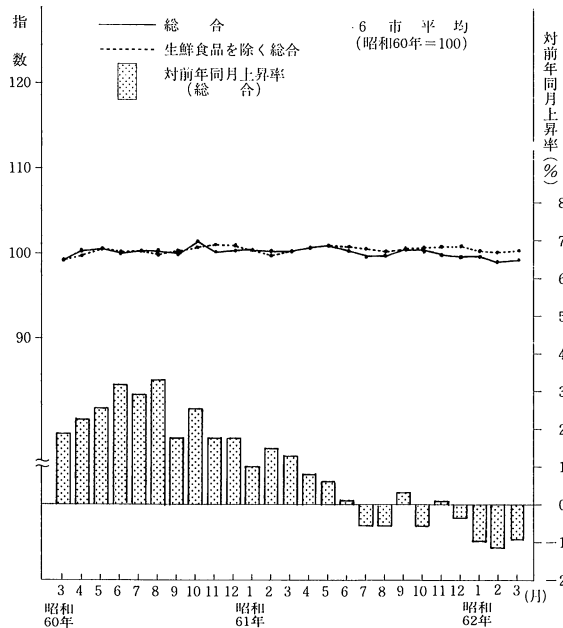
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部統計課

■ 人 口 (4月1日)

本県の人口は、3月中に3,861人減少し、4月1日現在で2,751,349人(男1,370,898人, 女1,380,451人)となった。

内訳は、自然動態で1,090人(出生2,716人, 死亡1,626人)増加し、社会動態で4,951人(転入21,309人, 転出26,260人)減少した。昨年4月1日現在と比較すると、22,992人

(0.84%)の増加である。

市町村別では、増加が4市26町村, 減少が14市46町村, 増減なしが1市1町である。

世帯数についても、1,804世帯減少して、771,142世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (3月)

1. 平均賃金の推移

3月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は256,306円で前月に比べ9.0%増(前年同月比0.9%減)であった。

このうちきまって支給する給与は232,526円で前月に比べ0.6%減(前年同月比0.9%増)であり、特別に支払われた給与は23,780円で前年同月に比べ4,656円減であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は174.1時間で、前月に比べ1.5%減(前年同月比0.4%減)であった。

このうち所定内労働時間数は156.9時間で、前月に比べ2.1%減(前年同月比0.4%増)であり、所定外労働時間数は17.2時間で、前月に比べ4.2%増(前年同月比7.0%減)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和60年=100)によってみると100.8で、増減率は前月に比べ0.2%減、前年同月に比べ0.7%増であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (3月)

本県における昭和62年3月の“鉱工業指数”(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が108.6, 出荷が112.5, 在庫が111.8で前月比は、生産が3.7%の低下, 出荷が3.2%の低下, 在庫が2.1%の低下であった。前年同月比(原指数)は、生産が4.9%の低下, 出荷が4.6%の低下, 在庫が4.2%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、金属製品工業, 食料品・たばこ工業, 化学工業等が上昇し、輸送機械工業, 一般機械工業, 石油・石炭製品工業等が低下した。出荷では、鉄鋼業, 金属製品工業, 鉱業等が上昇し、輸送機械工

業, 非鉄金属工業, 一般機械工業等が低下した。在庫では、鉱業, 精密機械工業, 金属製品工業, 食料品・たばこ工業等が上昇し、石油・石炭製品工業, 木材・木製品工業, 電気機械工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、非耐久消費財, 鉱工業用生産財が上昇し、資本財, 耐久消費財等が低下した。出荷では、建設財, 鉱工業用生産財が上昇し、資本財, 耐久消費財等が低下した。在庫では、資本財, 非耐久消費財が上昇し、その他用生産財, 耐久消費財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (3月)

昭和62年3月の茨城県消費者物価指数は、総合で99.6(昭和60年=100)となり、前月比0.4%の上昇, 前年同月比△0.8%の下落となった。

今月上がった主な項目……果物7.2%, 衣料5.2%, 野菜・海草4.0%, 教科書・学習参考書2.1%, 教養娯楽用品1.9%

今月下がった主な項目……油脂・調味料△1.8%, 家庭用耐久財△1.0%, 魚介類△0.9%, 飲料△0.6%, 身の回り用品△0.4%

生鮮食品を除く総合は100.1となり、前月に比べ0.2%の

上昇, 前年同月に比べ△0.3%の下落となった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	99.6	0.4	△0.8	保健医療	103.0	0.0	2.4
食 料	98.7	0.5	△2.2	交通通信	100.4	0.3	0.1
住 居	103.5	0.2	1.7	教 育	104.7	0.1	3.7
光熱・水道	89.5	△0.2	△9.7	教養娯楽	101.0	0.6	0.2
家具・家事用品	99.3	△0.5	△1.0	諸 雑 費	102.9	0.0	3.4
被服及び履物	100.2	2.6	1.1	生鮮食品と総総合	100.1	0.2	△0.3